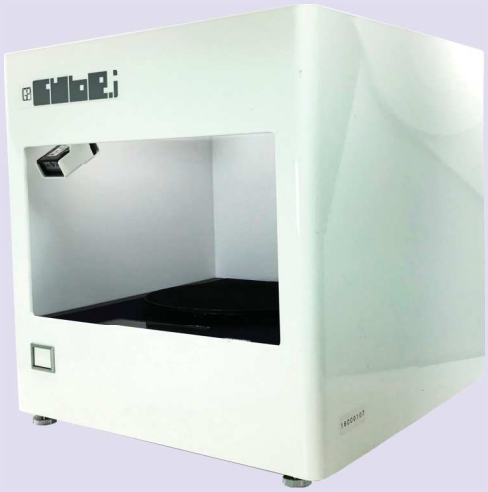
画像識別アルゴリズム搭載
薬剤監査システム

cube.i

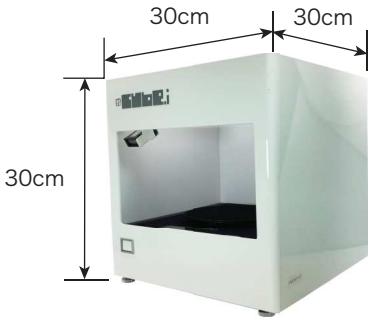
キューブ．アイ



デモ動画はこちら

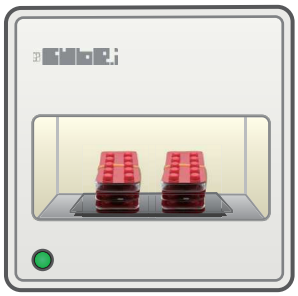
患者さんへの投薬時の薬剤の取り違えや注意すべき過誤。
そうした過誤防止を目的として開発したのが、**薬剤監査システム「cube.i」**です。
薬剤を監査台に置くだけで、薬剤監査、数量チェックを行います。
サイズもコンパクトで、手狭な調剤室でも設置できるのもこの製品の特長です。
現場での調剤業務の支援を行い、安心と信頼を提供します。

コンパクト化を実現



設置場所を選ばない
コンパクトサイズ
（約 8kg）

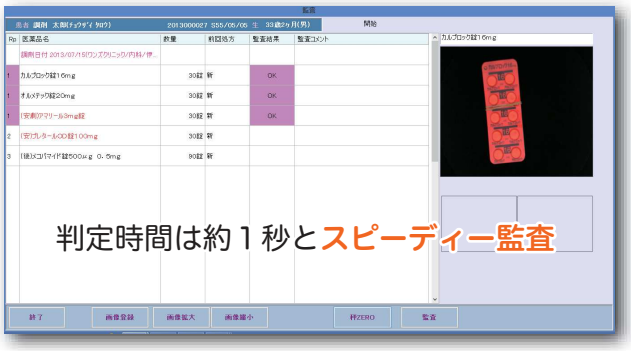
個別監査に対応



薬剤の種類と数量を同時に監査可能

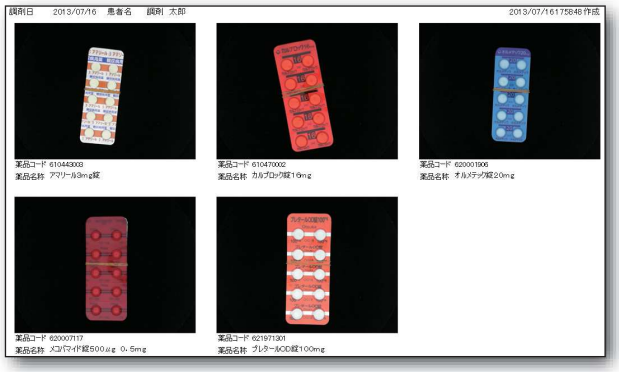
- 長期投与のように薬剤の束が２つ、３つになっても、薬剤識別、数量の監査が可能
- 向きや表裏を気にせず、監査台に乗せるだけなので、スムーズな運用が可能
- 内服薬、外用薬なんでも識別可能

スピーディー監査を実現



監査結果を画像・データで保存

患者さんごとに監査結果を保存



採用薬は手間なく登録

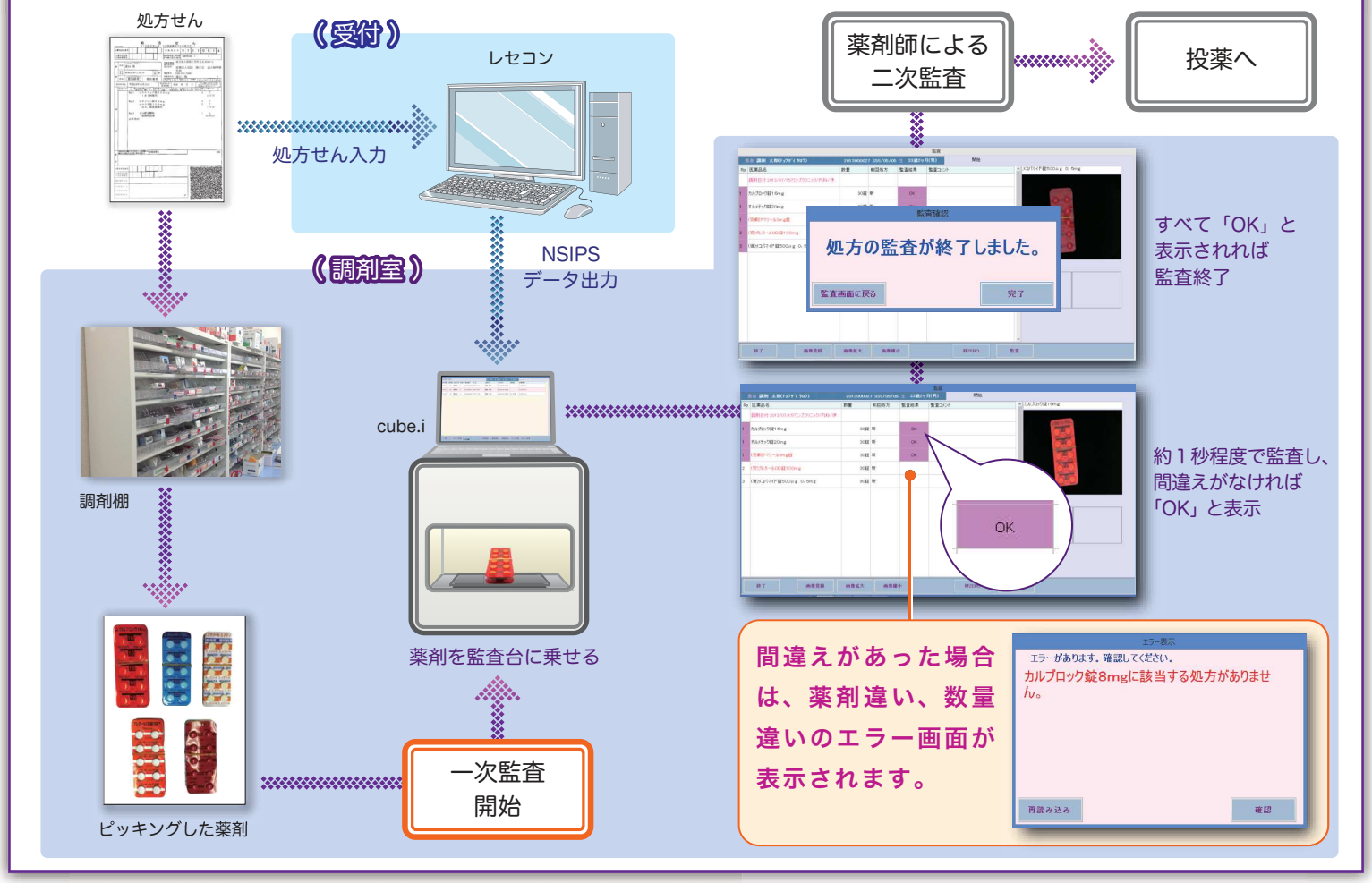
医薬品標準マスター搭載。未登録画像も監査台に乗せるだけで薬剤画像・薬剤重量を同時に登録可能

≪ マスター配信 ≫ ※ご提供予定
医薬品標準マスター、薬剤画像、薬剤重量、アプリケーションなどの更新データをデータセンターからダウンロードします。

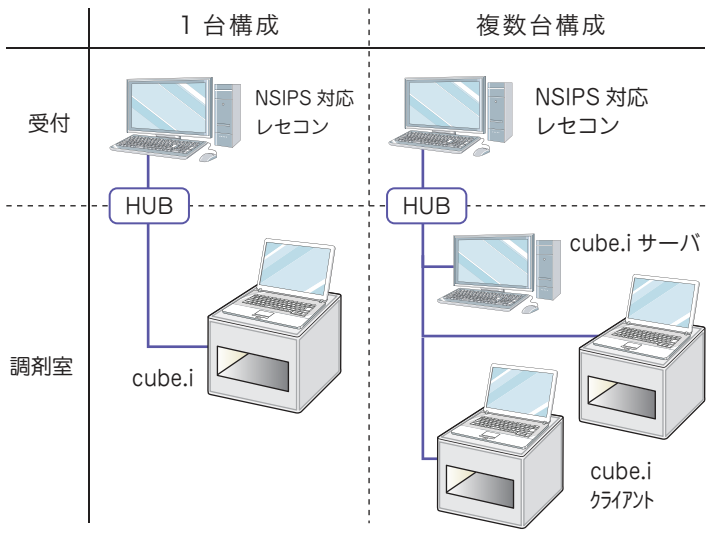
監査業務をサポート

- **輪ゴム留め状態**でも識別可能
- 判定エラーは**音と色で警告表示**
- **薬剤に欠品があった際も**別々に監査可能
- ハンディー型と違い、箱JANコードがなくても監査可能

操作は簡単！　薬を監査台に乗せるだけ



システム構成



仕　様

インターフェース	USB2.0
外形寸法	約 300（W）× 300（H）× 300（D）mm
対応 OS	Windows11 Professional（64bit）
CPU	インテル® Core™ i7 プロセッサー 2.4GHz 4 コア 以上（推奨）
メモリ	8GB 以上（推奨）
HDD	500GB 以上（空き容量最低）※1
ドライブ	DVD ※2
画面解像度	1366 × 768 ピクセル以上
連動形式	NSIPS ファイル（Ver1.04.01 以上）による連動
通信環境	インターネット接続環境

※1　約 1 年間程度画像保存をした場合です。患者数により前後します。
（上記は 1 日 100 処方、かつ 1 処方せん 10 薬剤程度の平均値から計算したものです）
※2　インストール時に必要です。
※　6 台以上の構成の場合は、別途「Microsoft SQL 2012 Server R2」が必要です。

お問い合わせ

■ 開発元

Cube imaging inc.
キューブイメージング株式会社
〒356-0055　埼玉県ふじみ野市旭 1-13-20
TEL ：050-3611-4788　　FAX：050-3611-4787

※Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※インテル、インテル Core はアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
※NSIPS（エヌシップス）の名称およびロゴマークは、公益社団法人日本薬剤師会の登録商標です。
※その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
※機能向上の為、システム内容は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

cube.i_LE231004_V2.3